

“農地・水・環境保全” 水土里のネットワーク通信

第131号

2021. 1. 1発行
島根県農地・水・環境保全協議会

ピンチをチャンスに

島根県農地・水・環境保全協議会
会長 山碓英樹（飯南町長）

明けましておめでとうございます

都会から帰ってきた子や孫とともに賑やかな正月が当たり前だったのに、今年は例年と違う静かな新年を迎えられた方も多いと思いますが、ウズコロナの時代、気持ちだけでも希望を持って一年を過ごしていきたいところです。

さて、平成19年「農地・水」の制度が発足して以来、多面的機能支払交付金は事業制度や名称も含め、様々な変遷を経て現在、県内では619組織（農地維持支払）、22,523ha（対象農用地の55.7%）取り組まれています。

15年目を迎えるこの制度は、過疎化・高齢化が進む中で積極的に地域活性化に取り組む地域にとってますます重要な柱となっています。

地域の資源（農地、水路、農道等）を地域全体（農家、非農家問わず）で維持保全のため、地域内での話し合いや共同活動をすることで、地域の連帯や世代を超えた交流を生み、地域活性化が更に促進され、その効果は計り知れないものがあります。

ただ去年はそうした共同活動も新型コロナウイルスのため制約されることが多くなってきましたが、ウイルスもこの世界の生き物ですので、これから共存、共生する方法を見つけ出すしか方法がないかもしれません。

農村地域は都市と違って、免疫力を鍛えるのに最適な自然豊かな環境があります。内閣府が行った三大都市居住者へのコロナ禍の影響についての調査でも地方移住への関心が高まってきています。テレワークで場所を選ばず仕事ができることがわかったとの回答もあるようです。田園回帰への志向が更に高まってほしいものです。

是非島根の各地域が選ばれるよう、活動組織の広域化や中山間地域等直接支払との重複取り組み等を積極的に推進し、地域の魅力が更に高まることを大いに期待しまして新年のご挨拶といたします。



“誰かがやらんといけんですけん”

常松町を守る会（出雲市）は、出雲ドームの北西に位置し、南の広域農道沿いにはホームセンターなど商業施設が立ち並び、商・農混在化が進む地域です。

長寿命化交付金を活用して幹線水路の補修の自主施工をしていらっしゃるとお聞きし、現地で落合会長、事務局の上田さんにお話を聞きました。

今回施工する水路は、最後に補修を行ったのはおよそ60年もさかのぼる昭和30年代で、当時も自主施工だったようです。そのため長い年月使われ続けたことで、床や側面などが水流によって削られ、コンクリート表面のひび割れや漏水が所々にみられるようです。

今回の施工では今年度中に50m、5年間で170mの水路を全面補修する計画で、コンクリート施工や現場管理などの業務経験のある方を筆頭として取り組まれています。取材中まず目に飛び込んできたのは、組まれた鉄筋の列とそれを囲む型枠でした。よく見ると鉄筋は緩やかに曲がっていて、お話によればそれは流速の安定や泥砂滞留の防止のため、水路をカーブ状にするためだとか。しかし、自主施工で（しかも製品なし！）水路をカーブ状にするのは、他に類を見ないほど難しい作業。それを為せるのは、落合会長をして「（設置が）5ミリでもずれると（他の作業の方が）”いけん”と言うだけん。」と言わしめるほどの、徹底した職人気質ゆえかもしれません。またその他にも、止水板を使ってコンクリート接続部の漏水を防ぐ工夫もみられました。

いきいきと補修作業をされる一方、上田さんは「補修をしても、（農業活動を）いつまで続けられるか…」と不安の声もこぼされました。全国的な傾向にもれず、当地域でも後継者の不在が深刻な問題になっているそうです。また組織の活動に関しても、事務の複雑さや後任を誰がするか等、苦労や悩みも多いようです。

「誰かがやらんといけんですけん。」そう話された上田さんの言葉に、長年この地で活動をされてきた地域への思いと責任の重さを感じました。前回の補修から60年、守り続けてきた常松町の農業を担って活動される方々の頭には、“常松町を守る会”のヘルメットが白く輝いていました。



落合会長



事務局上田さん



島根県土地改良事業団体連合会

水土里推進グループ 落合陽大

おちあいはるひろ

大雪による各施設の倒木処理について

見回りの結果、水路や農道等に倒木がみられ通水や通行に障害が生じている場合、農地維持「異常気象時の対応」で倒木処理が行えます。

なお、作業現場の安全を十分に確認し、作業も安全第一に行ってください。



- ★施設を管理している関係機関に連絡します。
- ★倒木や施設の状況等を具体的に把握し、倒木処理の時期や方法を決定します。

- ★倒木を切り倒す際や処理の際には、必要に応じて森林組合、専門業者等へ委託出来ます。
- ★倒木等の所有者との間に調整が必要になる場合があるので気をつけましょう。

- ★倒木を処理する際は、事前に運びやすい長さに切断しておき、通行等の邪魔にならないようにしましょう。



ようこそ相談室へ



「水路蓋の設置」が新たに長寿命化活動の対象活動となりました

Q イノシシが水路の法面を掘り、土砂で水路が塞がってしまいます。対策として水路蓋を設置したいのですが、長寿命化活動の対象となりますか？

A 対象となります。島根県ではR2年度から長寿命化活動として「水路の通水機能や維持管理に支障が生じている場合、新たに水路蓋を設置するなどの対策を行うこと。」が対象となりました。



Q その他にR2年度から加わった長寿命化活動はありますか？

A 新たに加わった長寿命化活動としては、ため池の管理道路の補修があります。また、未舗装農道路面の凹凸や^{わだち}轍の補修（農道路肩、農道法面等の補修）やポンプ等の管理施設の補修（ゲート、ポンプ等の補修）も長寿命化で実施可能となりました。

協議会事務局では活動記録・金銭出納簿作成をサポートしています。

1月になりました。12月までの活動や支出の整理を私たちと一緒にしませんか？
活動されたメモや領収書を見ながら一緒に、活動記録や金銭出納簿を入力していきましょう。(年度途中で一度整理しておく、足りない活動も分かります。)

今年度初めて事務を担当される方はもちろんですが、毎年報告書作成に苦勞されている方も是非ご連絡ください。

連絡先0852-32-4141 協議会 深田まで



令和2年度実施状況報告書等様式は、協議会ホームページからダウンロードできます。
また、水土里ネットの事務支援システム「助さん」をお使いの組織の方は、12月末に送られてきた、「助さん更新版」で「助さん」を更新させてください。令和2年度報告書等様式に対応します。

★1・2月の予定★

2月2日(火)	島根県農地・水・環境保全協議会 令和2年度通常総会
---------	---------------------------



**令和2年度地域貢献・地域活性化団体活動表彰を受賞
下出来洲 KHC(出雲市)**

下出来洲KHC(出雲市)は、多年にわたる地域の活性化やコミュニティの維持につながる活動が認められ、島根県農業協同組合から令和2年度地域貢献・地域活性化団体活動表彰を受けられました。



花のまちプロジェクト



水路清掃活動

下出来洲 KHC の皆さん
受賞おめでとうございます。



～担当者の声～

あけましておめでとうございます 今年もよろしくお願いたします
2020年は、忘れられない年になりました。昨年緊急事態発令時に聞いた著名人の言葉で「自分にとって何が
必要か、必要でないか、考える時だ」という言葉が、私の中で残っています。あれもこれもと欲張っていた世界に、警鐘を鳴らしているのかもしれませんが。スローライフとまではいなくても、少しずつ自分の生活や考え方を
変えていく時が来ている気がしています。(協議会 F)

～多面的機能支払交付金に関することは～

◆島根県農地・水・環境保全協議会
〔事務局〕水土里ネット島根
Tel 0852-32-4141 Fax 0852-24-0848
<http://www.nouchimizu-shimane.jp>



◆島根県農林水産部農林水産総務課 農山漁村振興室 Tel 0852-22-5119
http://www.pref.shimane.lg.jp/industry/norin/nougyo/kojo_taisaku/

◆又は最寄りの各市町村担当課までお問い合わせ下さい。



オケ原下集落(安来市)



全国の活動組織の事例はこちらから

多面事例 検索



「農村ふるさと通信」はこちらから

農村ふるさと 検索

